

2年生 家庭科

「食品添加物」に関する資料の探し方

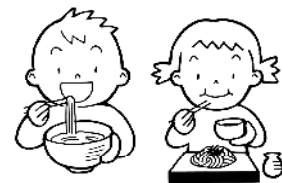
1. 手がかりとなるキーワード

安全性 危険性 食品添加物(天然・合成) 食品衛生法 保存食 加工食品 調理法
甘味料 着色料 香料 保存料 化学調味料 安定剤 酸化防止剤 漂白剤 発色剤

2. テーマの理解 (参考図書)

百科事典・専門的な事典・現代用語事典・年鑑・図鑑などを参考図書といいます。まずは、百科事典で「手がかりとなるキーワード」を索引検索してみましょう。

- ・『総合百科事典ポプラディア』 031 ソ
- ・『ポプラディア情報館 食と健康』 031 シ
- ・『日本大百科全書』 031 ニ
- ・『ニューワイド 学習百科事典』 031 ニ



3. 図書

書名	出版者	出版年	分類記号
『よくわかる暮らしのなかの食品添加物』 改訂新版	光生館	2007年	498
日本食品添加物協会による。添加物が利用されるようになった経緯、関係法規、種類ごとに分けた添加物の説明がのっている本。			
『はじめよう！楽しい食育 5 食の安全・安心』	金の星社	2008年	498
食の安全について順を追って説明してあるので、なぜ添加物が必要になるのかが理解しやすい。			
『もっと食品を知るために』	暮らしの手帖社	2006年	498
ハム・ソーセージやホットケーキなど、添加物を使ったもの・使わないものの見かけや味の比較をしている。			
『食の総合学習 3 食と環境』	あかね書房	2005年	498
添加物の知識だけでなく、食に関する問題点や今後の課題を提示している。			
『暮らしの中の知らない化学物質 2 加工食品』	くもん出版	2001年	519
食品添加物について今から学ぶ人のための本。クイズなどもおみまぜ、解りやすく、種類や役割、今後の課題なども示してある。			
『絵本おもしろふしぎ食べもの加工』 1～5	農文協	2003年	588
加工品がどのようにできるかが、自分たちで体験できる。			

*このほかにもたくさん本があります。「食」のコーナーに行ってみてね！

* 食品添加物の安全性については、様々な考え方の人がいます。
基本の知識を理解したうえで、読みましょう。

4. 図書館にあるその他の資料

《パンフレット》

- ・『テンカちゃん豊かな食卓』 日本食品添加物協会発
- ・『もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ』 日本食品添加物協会発行
- ・…などそのほかにも「食」のコーナーにあります。

5. インターネット（一例）

- ・ 日本添加物協会…食品添加物の種類や役割などを解りやすく説明している。
<http://www.jafa.gr.jp/>
- ・ 食品添加物を調べてみよう！フジテレビ商品研究所・食品添加物データベース
…添加物の頭文字かフリーワードで検索できる。
<http://www.fcgr.co.jp/additive/customer.html>
- ・ 厚生労働省 食品安全情報…食の安全に関する情報。食品添加物の項目もある。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/>
- ・ 電子政府の総合窓口 E-GOV 内 法例データ提供システム…各種法例を調べることができる。
<http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>

6. もっと調べたいときは(読み物や他の学校所蔵、関連施設)

※(日の里中→日 城山中→城 河東中→河 自由ヶ丘中→自 玄海中→玄 市民図書館→市)

《中央中にある読み物など》

- ・『トコトンやさしい発酵の本』 日刊工業新聞社 588
- ・『食品の裏側』安部司 東洋経済 498
- ・『食卓の向こう側』安部司 西日本新聞社 498
- ・『体に安全なものの食べ方』増尾清 宝島社 498
- ・『おいしいハンバーガーのこわい話』 エリック・シュローサー 草思社 498
- ・『ここまで来た！環境破壊 3 わたしたちの食べ物は安全か?』 奈須紀幸 ポプラ社 519
- ・『コンビニおやつ子どもは大好き！ちょっと心配』 子ども文化編集部 芽ばえ社 498



《他校にあるもの》

- ・『日本の伝統食を科学する』1～3巻 小泉武夫 汐文社 588 (市・城・自)
- ・『考えてみよう!保存食と食品の安全』 山岡寛人 草土文化 588 (日・自・玄)
- ・『食品着色料検出実験』 少年新聞社 498 (日)
- ・『これでわかる食品添加物表示』 川口啓明 合同出版 498(日・自)
- ・『理科の自由研究 身近な食品テスト』 増尾清 誠文堂新光社 498 (自)



7. 最後に（調べるときに大切なこと）

- ・ ひとつの情報源だけを信用しないで、必ず2つ以上の資料を調べる。
- ・ 何の資料を見て調べたのか必ず記録する。
- ・ 本が見つからないときは、司書に聞いてください。